

# 観測部月報

Monthly Report, Observing Section, O. A. A.

★

東亞天文協會

## ★流星課 METEORS (139) 流星課長 小楨孝二郎 (K. Komaki, President)

いよいよ待望の八月が来た。流星観測の書き入れ時である。新しく観測を開始される方々にとつても最も好都合の時期である。凡そ、天文を楽しむものは八月のペルセウス流星群の観測は是非ともやるべきであると主張したい。その美観を恣にし、観測の醍醐味を満喫して貰いたい。特に學生、生徒諸君の奮起を希望する。

八月の主要な流星群 (August Meteors :) は、課報 (138) に述べたものの外、次のものが活動する。

期 間	極大日	輻射點		附近の星	備 考
		$\alpha$	$\beta$		
八月30日~九月2日	九月1日	86°	+41°	馭 者 $\tau$	速, 1911 II 彗星に關聯
中 旬 — 下 旬		290	+53	白 鳥 $\kappa$	速
下 旬		291	+60	龍	緩
八 月 — 九 月		346	0	魚 $\gamma$	緩

ペルセウス流星群の極大は八月12~13日頃であつて、今年は16日に満月がある爲、極大に至る全期間の観測は好都合である。期間通じての出現頻度の變化や日週變化、同時観測による實經路の獲得、輻射點移動の確認、屢々出現する太陽星の詳細なる記録等々なすべきことは多い。

本年度の同時観測は下記の計畫によつてやることにする。

期 間 八月7日より13日に到る7日間。

時 間 毎朝1時より3時に到る2時間。

観測方向 地方別に適宜計畫を立ててやつてもらひたい。近畿班は課報 (128) に依つてもらひたい。各班の班長を下記の如く委嘱する。

四國班	香川縣三豊郡笠田村	川人武正氏
關東班	東京市世田谷區野澤町1	齋藤馨兒氏
近畿班	和歌山縣有田郡金屋	小楨孝二郎

尙、月末の馭者座流星群の活動期も、新月前後になるから、観測には最も好都合

合である。どんな突発的な出現を見せるかも知れぬので、注意を要する。

×      ×      ×      ×      ×

本年上半期の成蹟は観測報告の出揃ひを俟つて、総合結果を發表する。

(1943年六月26日)

#### 去る五月11日の臺間の大火球 (急報第612號より)

此の火球については、名古屋市の鈴木正名氏の観測が、急報605號點によつて報ぜられたが、其の後、中野敏男氏(富山)、秋元徽瑛氏(東京)の報告を得更に鈴木正名氏の再調査を得たので、東京方面の諸観測(東京天文臺回報222號所載)を參酌して、極めて大ざつばではあるが、経路を指定した。中野氏の観測は、發光點の見當を立てるのに甚だ有力のものであつた。

即ち、發光點は、富山市のやゝ北方(富山灣の上空?)で、少くとも110秆以上であり、消滅點は、伊豆半島の南方海上(東緯139度、北緯43度位)で、高さは、10秆又はそれ以下であらうか。経路の長さは、實に500秆に及ぶものであると思はれる。(小横)

#### ★掩蔽課 OCCULTATIONS.

去る六月9日のレグルス星( $\alpha$  Leonis)の掩蔽(急報606に豫報)については、東京市の齋藤馨兒氏から下の報告があつた。

Im. 潛入時刻(日本時)	19時 11分 50.0	秒	± 0.5
Em. 出現" ( " )	20 29 27.	秒	± 1. (?)
観測地の經度緯度	$\lambda = -139^{\circ}40'03''$ , $\psi = +35^{\circ}37'39''$		
器 械	口径125 耗反射鏡, 倍率 ×120.		

田上、その他の諸所では曇りのため、観測は不能であつた。

掩蔽の豫報については、急報を見られよ。尙、掩蔽の観測には、時計の取り扱ひが肝要であるから、天界263、265號の卷頭文等を熟讀せられたし。掩蔽に慣れない人々は、天界の近刊號に山本博士の“掩蔽観測法”が載る筈であるから、見られたし。

標準時は放送局の7時、12時、19時、22時の報時を採るのが宜いが、七月からは、毎時(毎日24回)の特別報時が開始される由であるから、之れを参考にせられるが宜しい。(課長)

#### ★彗星課 COMETS.

1943  $\alpha$  (アレント彗星) について、發見者 S. Arend 氏が、コペンハーゲンへ報告した手紙(I. A. U. C. 944)によれば、「去る三月29.0日にユクルのアストログラフで40分間の曝寫で1942f(ホイブル・フトケ)彗星を撮影した乾板を調査中に、1942f星のすぐ近くに、この彗星を發見した。即ち、13等級の星翳状で、核を有し、尾をもつてゐない。乾板ではこの彗星は線を引いたから、そ

の中央の位置と時刻を測定した。この結果から見ると、三月28.5日には、この彗星は1942fと殆んど同位置に在つたことになる」と。

この40分間の移動の中央の位置といふのが、発見電報で通知されたもので、1943.0年の分點によれば

1943年三月29.00534日には	赤經	12 <sup>h</sup> 39 <sup>m</sup> 53.43 <sup>s</sup>
	赤緯	+47° 48' 15."2
毎日の運動は	西へ2.5,	南へ40'

となつてゐる。

全く偶然の発見ではあるが、これは誠に珍しい偶然である。それとともに、得られた記録なり、撮影された乾板なりは、目的のもの以外に、何か別の貴重な資料を記録し撮影してゐないかを、充分に検討する必要があることを教へられる。現に新しい彗星が、その発見以前に撮影された乾板に寫つてゐることも、相當に多いのである。(1942f彗星にもこの例があつたことは前回記した通り)。また、永久に二度とはくりかへすことのない天界現象を記録しておくために、特に索天カメラ Patrol Camera といふ名で毎日毎夜の天空を撮影記録してゐる天文臺もあり、彗星や小遊星や新星や變星などの研究に大きい貢献をしてゐる。

その他には、今までに變つた報告はない。期待されてゐる第二ネウイミン彗星、ダニエル彗星、ダレスト彗星なども未だ発見の通知は來ない。第一シワマン・ワハマン星もまだ観測されぬ模様。(18.6.27.—進)

本課から別れて、近日中に小遊星課といふものを創設したいと計畫してゐる。詳細は第266頁を見られよ。(一清)

## ★太陽課 SUN

この六月は稀な天氣悪であり、又、缺測の人々も澤山あつたけれど、協同観測の御蔭で、全缺の日は3日と6日とだけで、あとは皆何等の観測が行はれたので、黒點の様様は大體に於いて連続的に捕へ得たのは幸であつた。福岡に観測者が3人となつたことは喜ばしい。

一ケ月中、観測日が偏よつてゐる場合や、観測日数が10ケ日に満たないやうな場合は、“平均”を執ることが殆んど意味が無いと思ふから、書かないことにする。實際、総合研究をする場合にも、(全然これに乗てるのでは、勿論ないけれど)、こんなのは、標準相對數へ換算するための係數kを算出することが不可能である。観測者諸氏に御願ひしたいことは、缺測を成るべく少なくして、観測日数を増して頂きたい。多くの場合に、器械力や設備に於いて劣るアマチュアが職業的天文家に勝つ一つの方法は、忍耐と努力とによつて、観測日を増すことである。

太陽黑點相對數報告 (1943年六月) Sun-Spot Relative Nos., June, 1943.

觀測者	西尾敏夫	秋澤昭二郎	竹内潤	恒岡美和	保積善太郎	正田源一	青木章	西山峰雄	藤吉泰男	赤坂陽	木邊成磨	香掛七二	吉野昭三	大久保正	植田耕作	坂上務	
Obs.	No	SA	Tu	YT	H <sub>z</sub>	GH	Ai	MN	YH	AA	Kb	Kk	SY	Oq	KU	Su	
(觀測地)	(大阪市)	(高知市)	(名古屋)	(姫路市)	(東京市)	(大阪市)	(大阪市)	(福岡市)	(福岡市)	(東京市)	(滋賀縣)	(長野縣)	(大阪市)	(東京市)	(大阪市)	(福岡市)	
口徑 mm	105	32	32	36	76	38	75	32	50	55	75	102	150	58	32	42	
倍率 x	75	54	50	60	64	55	64	45	44	50	60	75	75	64	60	64	
方法	P	P	D	D	D	D	P	D	D	D	D	D	D		D	P	
1		42	0	0	12	M	0	12	12	0	24	C	0	0	0	C	
2		38	0	0	0	0	0	C	R	0	0	C	0	0	0	0	
3		R	R	R	R	R	R	C	R	R	R	C	0	0	C	R	
4		R	C	C	C	C	C	C	R	0?	R	C	11	0	C	R	
5		C	M	C	0	M	0	C	R	M	M	C	11	0	M	R	
6		R	R	R	C	C	R	R	R	C	M	C	R	R	R	R	
7		R	R	R	0	R	R	R	R	M	M	C	R	C	R	R	
8		26	R	R	C	C	C	R	R	M	M	C	C	C	R	R	
9		R	R	R	11	C	C	11	R	M	M	C	R	C	R	R	
10		C	R	C	11	R	R	R	R	11	M	11	R	11	R	C	
11		C	R	C	11	M	C	M	11	M	M	C	18	11	C	R	
12		42	M	M	11	11	11	12	M	R	11	11	16	11	12	C	
13		R	M	M	24	M	26	R	R	11	23	23	C	M	C	R	
14		25	R	11	C	R	R	M	12	22	M	R	C	R	C	C	
15		C	27	C	0?	R	C	12	M	C	M	C	C	R	C	C	
16		11	C	14	11	11	11	13	M	11	11	C	15	11	0	11	
17		23	C	C	11	C	M	C	C	11	C	22	R	11	0	C	
18		M	C	R	C	R	M	R	0	R	R	C	R	R	R	C	
19		0	14	C	0	C	R	0	0	0	M	C	0	0	C	C	
20		M	27	0	0	0	0	0	0	0	M	0	C	0	0	C	
21		0	M	0	0	M	M	M	0	M	0	C	0	C	0	0	
22		0	M	0	0	M	0	M	0	M	0	C	0	C	0	0	
23		12	M	17	0	12	M	13	13	12	M	15	12	19	M	0	
24		13	M	18	12	16	M	15	16	M	M	17	16	21	16	13	
25		11	27	M	11	11	11	14	M	M	11	M	C	17	11	11	
26		11	26	0	0	11	11	16	11	M	0	11	M	14	C	11	
27		R	C	C	0	11	C	0	R	R	0	0	11	C	R	C	
28		0	26	0	0	0	0	0	M	0	M	0	C	0	C	0	
29		0	39	0	0	0	M	0	M	C	0	0	C	C	R	0	
30		0	C	0	0	M	0	C	M	M	0	C	0	M	0	C	
平均 Mean		30	4	3	8		7		6	7	4		8	7	4		
日數 Days		12	12	12	19	23	7	19	7	10	13	14	7	17	11	16	8